

## 第1回新法人準備委員会 議事録

【日時】 11月14日（木）18～20時

【場所】 ふうれん交流センター

【出席者】

委員	◎委員長 ○副委員長		11/14
1	名寄スポーツ協会評議員	今尚文	○
2	名寄スポーツ協会理事	栗原智博	○
3	風連スポーツ協会理事	山崎真由美	○
4	風連スポーツ協会理事	○筒井正敏	○
5	Nスポーツコミッション副会長	◎遠藤貴広	○
6	Nスポーツコミッション市民健康部会長	小笠原志朗	×
7	名寄市特別参与	阿部雅司	○
8	名寄市総合政策部部長	石橋毅	○
戦略設計アドバイザー			11/14
1	笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所シニア政策ディレクター	澁谷茂樹	○
事務局			11/14
◎事務局長			
1	名寄市スポーツ・合宿推進課課長	◎松澤大介	○
2	名寄スポーツ協会事務局長	安澤豊	○
3	名寄スポーツ協会総務課長	名和谷香代	○
4	風連スポーツ協会理事	菊池慎二	○
5	風連スポーツ協会事務局長	明石裕	○
6	Nスポーツコミッション事務局次長	黒井理恵	○
7	名寄市スポーツ・合宿推進課主幹	片井省仁	○
8	名寄市スポーツ・合宿推進課主査	小田美紗子	○

### 【決定事項】

- 1, 正・副委員長の選択  
委員長 遠藤貴広      副委員長 筒井正敏
- 2, 法人格の選択  
資料を提供して次回決定へ
- 3, 新組織事業・予算について  
初年度はそれぞれの活動を実施。2年日以降で事業統合などを検討していく
- 4, 議事録の公開  
名寄スポーツ協会▶ウェブサイト

N スポーツコミッション▶なよろスポーツナビ  
風連▶後日理事と検討する  
名寄市▶市の HP での公開を検討

## 【発言録】

### (1) 正副委員長の選定

松澤 正副委員長の選出ですが、自薦他薦お願いいたします。

筒井 N スポーツコミッションの遠藤さんがいいのではないのでしょうか。

松澤 みなさんいかがでしょうか。

(全員了解)

松澤 副委員長はいかがいたしましょうか。遠藤さんいかがでしょう。

遠藤 それでは、ご推薦いただいた、筒井さんをお願いしたいです。

筒井 名寄スポーツ協会からいかがでしょうか？

栗原 筒井さんでお願いします。

(正副委員長の決定)

遠藤 改めまして、よろしくお願ひいたします。変わらず、本当にこれまでのいろんな候補に向けての動きの中でいろんな知恵を出していただいた皆さんのここに揃っていると思ひなので。その話をうまくまとめることに決するだけです。どんどん急ピッチで、これから春まで忙しい中だと思ひ出ますが進めて行きます。

### (2) 法人格の選定

遠藤 それでは法人格の選定についてです。

黒井 法人格の比較ということで、基本的には財団法人という形で、現在の名寄スポーツ協会の法人格を引き継いでいくのか、もしくは一般社団法人という新法人を立ち上げて、そこに統合していくのかという2択になります。他にはNPO法人等もありますが、今回は適切ではないとして省きました。専門家の意見をまとめて比較資料を用意しています。(資料説明)

遠藤 事務局長から本日決めなくても決定せずに、次回という話しでしたが、疑問点などあればご質問ください。

山崎 参加団体、競技団体の皆様の思いというのがどのような状況にあるかを大事にしなくてはならないと思ひます。この点について何かお聞かせいただければとあります。

たらお願いします。

栗原 名寄スポーツ協会でも準備チームがありますので、その中で情報を共有しながらタイミングを見て情報発信しながら意見を吸い上げて、進めていきたいというふうに思っています。

今 お話がありましたけども、これまでの議論経過について教えてください。今まで3者で集まって話をした中で、財団を利用する、他の法人格を使うならどうする、と話していたのだと思うのだが、それはどうなっていますか。それをもう少し聴かせてもらえれば、結論・判断がしやすいのですが。

松澤 検討会議の中では結局この法人格については、一度名寄スポーツ協会の法人格を利用するという合意形成をしかかったところでしたが、その後名寄スポーツ協会内で機関決定をする段階でうまくいかなかったという経緯です。検討会議ではその結論めいたものは出ていません。現在はまっさらな状態で、法人格の性格の部分だけではなくて、スピード感と費用の面も含めて皆さんに考えていただきたいです。

今 私たちがあまりこの問題深く聞かされていないと言いますか、議論にも入ってませんでしたので確認しました。今の財団でいいのではないかという提案があったとのことですが、それが現在の状況になっているのは、何がネックだったのかでしょうか。例えば財産があるから、など。

松澤 おそらく決定のプロセスというところじゃないかと思います。情報伝達や決定プロセスの段階で名寄スポーツ協会でも理事・評議員までしっかり伝わってなかったというの多分にあるのかなというふうに思います。

### (3) 事業内容・予算について

遠藤 それでは新組織の事業予算等についてお願いします。

松澤 基本的には基本合意をしたときにご提案させていただいた、この提案書をもとにこの委員会でいろいろ決めていきます。事業予算については一旦は全ての事業を新組織になってスタートさせていきます。各団体の授業をそのまま継続してやる方針で、予算についてもそのままスライドをしていきます。

黒井 今回事務局の方でそれぞれ分野分けをして取りまとめています。予算の規模感としてご確認ください。

(資料説明)

安澤 (名寄スポーツ協会の事業説明)

明石 (風連スポーツ協会の事業説明)

松澤 今後、事業整理もしていくことになると思うが、それは2年目移行になると思います。

阿部 3つの事業が一つになるにあたって、1年一緒に動きながら見えてくることがあると思います。現時点で完璧をもとめるのではなく、少しずつかいぜんしていくのがいいと思います。新しいコトを始めるといろいろ出てきます。苦労があると思いますが、失敗を恐れずに進めて行きたいですね。

渋谷 組織としていい方向に仕上がってくのってというのはこう三年目ぐらいからなんじゃないかなと思います。みなさんもそれくらいのスパンで考えるといいと思います。ちなみに、資料の中のスポーツ団体にNPOが多かったのは、当時スポーツ団体が法人格が特定非営利活動法人しかなかったからだと思います。現在は一般社団、財団とふえていると思います。

山崎 風連の少年団への補助についてこの予算の中に入れておくといいと思います。

#### (4) 設立準備スケジュール

遠藤 では、次の議題にうつります。今後のスケジュールについてです。

松澤 (資料説明)

片井 指定管理のステップについてです。(資料説明)

安澤 ①は運営する会社が変わるよというような手続きになる。②は現スポ協の財団法人を使うことになる。

栗原 財団法人の際には、指定管理が決める段階で、理事や評議員がすべて入れ替わってるとのことですか？この短い期間で決めることになるのか？理事会、評議員会も今のまま進めていって、最後に変更していくのは、相当なエネルギーがいるんじゃないかと思いません。

松澤 新法人の場合には、新法人格があり、そこへの移行が名寄スポ内とここで機関決定されているという書面があれば大丈夫だと思います。

黒井 社団自体は理事等々が決まってしまうばすぐできる二週間ほどでできます。年内に理事と社員決まれば2月の上旬には組織として立ち上がっている。

安澤 財団の場合は、事業の計画、予算。中長期計画定価変更とかですね。各種規定変更を1月の末に全てクリアした段階で、旧理事会、評議会に報告して、新しい組織はこうなるので、定款の変更と理事・評議員の変更を行うことになる。

松澤 現在のスポーツ協会が指定管理が切れるタイミングはR7なので、いま話しているのは新法人への移行、引き継ぎの話です。なので、いまの財団法人を使うなら単純な名称変更、役員が代わるっていただけですと届け出を出せば済む。

#### (5) 今後の委員会、ワークショップの開催、情報公開について

松澤 今後のスケジュールの確認です。全9回ということで予定しており、月に2回ペースです。事務局会議は毎週木曜日に実施しています。また、11月29日に競技団体の方と情報交換、コミュニケーションをとる機会を作っていきます。このワークショップについて、渋谷さんからお願いします。

渋谷 まずはビジョンを描いていきたいと思っています。一回目では2040年の名寄のスポーツ環境がどうなってるか。特にその子供たちにとってですね。皆さんと語り合うような場にしたい。2回目には課題について、3回目はその課題に対して何をしようかといったことを3段階みたいなことを三段階で話しあっていくワークショップにしたいと思っています。で、えっと。単なる話し合いにしないですね。名寄市のスポーツは本当に盛んです。他地域との比較なども含めて情報提供もしていきます。

松澤 現在、すでに各競技団体に向けて案内済みです。1団体1-2名程度のご参加になると思います。また、今回のスポーツ組織の統合はスポーツ関係者だけでなく、多くの市民が注目しています。その議事録はしっかり公開していきます。名寄スポーツ協会のホームページ、Nスポが運営している「なよろスポーツナビ」とSNSで情報公開していきます。

山崎 ワークショップについてもご説明いただきました。スケジュールの中でコミュニケーションという部分についてもご説明いただいたところなんですけれども、4月1日というあのゴールも見据えながらということなので、dタイトなスケジュールですが市民の皆様様の安心という視点から、浸透していくというところでの時間のかけ方が。ひょっとしたら

不足してくるのかなっていうような思います。難しいかもしれませんが、若い高校生などにお意見を集めていってほしいと思います。

松澤 現在若い世代が参加できる場は検討していないが、どこかの段階では検討したいと思います。また、役員同士のコミュニケーション、指導者同士のコミュニケーション、ジュニア選手同士のコミュニケーションは事務局レベルではアイデアとして出てきています。

## (6) 締め挨拶

阿部 すごく前向きな意見がたくさん出てよかったかなっていうふうに思ってます。皆さんと一緒にスポーツで市民の皆さんが笑顔になるような団体をつくっていききたいと思っています。

今 本日、今日ご苦労さまでした。一番感じたのは、Nスポとの環境の違いという話です。まちづくりとスポーツの関係についてです。スポーツ振興とまちづくりは違うという意見が、スポーツ協会のなかではでてきていましたが、いまは私も違う感覚を持っています。スポーツもまちづくりも同じだということです。いずれにしろ、これまでのスポーツ協会の活動について不満も含めてさまざまな意見が出てきていました。これからはしっかり話しを競技団体から聞いて、今回の会議についてももしっかり情報共有していくべきだと思っています。

栗原 ご苦労様でした。私はサッカー協会なんですけど、今日初めて全体人数を正確に知りましたが、こんなにいるんですね。名寄からだけでなく、近隣市町村からもきているんだと思います。今後は広域になっていくのだなと。新しい組織もそうになっていくとおもいます。スポーツはもちろんまちづくり。子どもたちがやりたいスポーツができる町にしていきたいと思っています。

山崎 お疲れ様でした。自分はスポーツが大好きで、ずっとスポーツに関わってきたので、大変ありがたいなと思っています。できるだけ多くの人の意見が、全部は取り入れることはできなくても、反映された形で一つずつ進めていけたらありがたいなと思っているところです。先週の土日別団体の北海道の会議に出たら、何人もの方に、名寄のスポーツの環境が変化していてすごいですね、と声かけられました。そんなふうに道内で一目置かれてきているところについても嬉しいし、嬉しい反面、ちょっと身の引き締まる思いも感じています。